

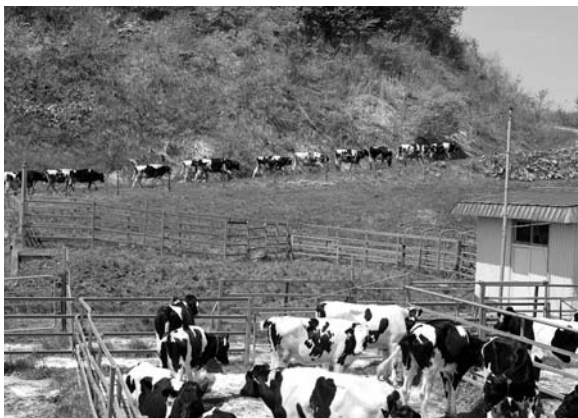
大きな成長を願って

新ひだか町静内地区川合牧野団地へ入牧始まる

新ひだか町牧野静内団地において5月15日に静内酪農振興会（会長小池孝義さん）の生産者を始め、各関係機関により乳牛の入牧が行われました。今年が良い天氣に恵まれ、大きなトラブルもなく入牧作業が行えました。

牧野団地は92ヘクタールの広大な敷地に、牛のストレスを軽減し、健康的な育成、丈夫で元気な仔牛を生ませることを目的に行っており、今年には振興会生産者7戸から集められた生後6ヶ月齢から24ヶ月齢までの雌のホルスタイン牛93頭が入牧しました。また、入牧の際には、事前に各生産者が行った妊娠鑑定に加え、コンディションチェックのための採血や体重測定も実施し、また近い月齢ごとに4牧区に振り分けることで、よりストレスを軽減できるよう放牧の工夫を行っています。

同牧野での放牧は10月末まで行われる予定で、退牧時までには1頭当たり150kg以上の体重増を目指します。



大きくなって帰ってきてね！



入牧後、牛魂祭が行われました

夏の収穫を楽しみに！

J A しずない青年部ミニトマト定植体験授業を実施

J A しずない青年部（部長 若生慎吾さん）は5月から6月にかけて町内の各小学校にてしずない産ミニトマト「太陽の瞳」と同じ品種を使用した定植体験授業を行いました。

この活動は食育事業の一貫として平成25年から毎年実施しており、子どもたちには部員との指導のもと、実際にシャベルを使用した畑づくりからミニトマトの苗の定植までの作業を体験してもらいました。

子どもたちは熱心に部員達の説明を聞き入れながら楽しそうに作業をこなしていました。

最後に収穫までの管理作業として、栄養が集中するように余分な芽をとるようにとの細やかな説明も行いました。青年部長の若生氏は「この活動を始めて6年経過するが、各学校に挨拶に行くとも毎年楽しみにしていると言われる。子どもたちに喜んで貰えるだけでなく、先生方にも興味をもってもらえることに非常にやりがいを感じます」と話していました。



わき芽の取り方を説明する若生部長



みんな真剣に取り組んでくれました！